

● 活動目的

ボランティア室は、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの基本方針に基づいて、病院ボランティアにより患者さんが安らげる療養環境作りと地域社会に寄与することを目的として、平成 17 年に設立されました。

病院ボランティアは、病院の医師、看護師、その他の職員と協力して、患者さんに寄り添い、患者さんがもつ不安を軽くすることによって安心して治療を受けることができるよう、自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供する人で、ボランティアの皆様には専門職ではなくてもできる仕事のお手伝いを行っていただいております。

● 活動状況

令和 5 年度における岡山医療センターのボランティア登録者数は 14 名(外来 8 名、読み聞かせ 4 名、裁縫 1 名、傾聴 1 名)。

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら外来ボランティアと裁縫ボランティアは活動を継続。読み聞かせボランティアは、感染拡大防止のため面会制限が緩和されるまで活動中止とした。

【活動中止期間】

読み聞かせ 令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日

【個別の活動状況】

外来・・・病院と患者さんのニーズに合わせた活動

裁縫・・・小児病棟からの作成依頼にて活動。病棟看護師の協力があり、患者さん個人に合わせた医療ケアグッズを作成

新たに、一般病棟からの作成依頼へも対応

読み聞かせ・・・活動なし(面会制限等)

傾聴・・・依頼時に随時対応

【募集状況】

外来ボランティアの新規登録が 1 名あったものの、応募者が少ない状況は変わっていない。長期休暇中の学生からの問い合わせは数件あった。今後もホームページ、院内掲示、広報誌等により広く募集を行っていく。